

第3回懇談会の主な意見等

<改築校の規模・柔軟な施設設計>

- 中学校の中に4つの小学校区があり、小学校・中学校の連携校になるとすれば、児童生徒数の推計は、単純な小中一貫校より複雑で難しくなるため、その点も踏まえて考える必要がある。
- 高井戸公園に隣接する良好な環境を活かした魅力的な学校になると、小学校から富士見丘小に通いたいという子も出てくると思われる。特例校に指定するかも含めて、そうした影響についても視野に入れて検討してほしい。
- 例えば30年後など、中長期的な視点をもった計画ができればよい。

<小中一貫教育、他校との関係>

- 学区内の高井戸小、久我山小、高二小の子どもたちのことを考えると、富士見丘小学校・中学校だけの一貫校は難しいのではないか。

<諸室・施設計画>

- 富士見丘小はコミュニケーションを重視した特色ある教育を実践しており、ミニ発表会やワークショップ等ができる適度な広さの部屋が是非ほしい。
- プールは、季節・天候を問わず使え、地域開放もできるよう温水プールを検討してほしい。
- 小・中学校の共有スペースを作り効率的な施設にすることで、その分の容積を生み出して理想に近づけていければよい。
- 都立高校で自習スペースを充実して成果を上げている学校がある。今は家庭等で集中して勉強できる環境の確保が難しいため、自習スペースの整備は有効だと思う。

<通学路等>

- スクールバスを検討する場合には、学童クラブに通う児童の帰宅時間についても配慮してほしい。
- 旧NHKグラウンドの東側の道路は狭く見通しが悪いため、高井戸公園の整備に当たって東京都と調整し、通学路の安全性向上に取り組んでほしい。

<学童クラブ等>

- 学校の想定規模に対応した定員をもつ学童クラブを整備し、学童クラブの待機児童が出ないようにしてほしい。